

西之内町地車新調 実行委員会通信

2022 年
4 月号

新調通信に関する御問い合わせ
西之内町公民館
072-444-7712

西之内町新調地車

彫刻の物語背景と紹介（12）

木村長門守重成

つつじやたんぼが色とりどりの花で春の訪れを告げるこのごろ、西之内町の皆様におかれましては、ますますお元気で活躍のこととお慶び申し上げます。

今月も新調地車の彫り物の場面について少しご紹介します。新調だんじりの題材でもある「難波戦記」では、豊臣方、徳川方の名だたる武将がたくさん出てきます。大河ドラマ『真田丸』では、堺雅人さん演じる真田幸村や哀川翔さん演じる後藤又兵衛など個性的なキャスティングで視聴率も高かったそうです。今回は、豊臣方の武将である木村長門守重成についてご紹介します。

木村重成は、木村重茲の子といわれています。生年は明らかではないのですが、豊臣秀頼の乳母の子ということから、秀頼とほぼ同年齢であったといわれております。父と兄の高成は豊臣秀次に仕えていたため、秀次事件に連座して自害させられました。



木村長門守重成

たが、助命された母の宮内卿局（一説には右京大夫局とも）は豊臣秀頼の乳母となり、重成は幼少から秀頼の小姓として仕えたといわれております。秀頼の信頼が厚く、元服すると豊臣家の重臣となり重要な会議などにも出席するようになります。慶長4年12月17日には、豊臣姓を与えられるほどに出世をします。豊臣家と徳川家康との関係が険悪になると、大野治長・渡辺胤らと共に開戦を主張し、存在感を出すようになります。

講談でも木村重成のお話である『木村長門守の堪忍袋』は人気があり、この場面を

縁葛などに採用しようかということも検討しました。あらすじは、木村重成は評判のいい人物だが、やつかむ者がいる。お茶坊主の山添良寛は木村重成に恥辱を与えようと策を弄するがうまくいかず、かえって良寛の方が『蠅坊主』と罵られる始末。大坂城内の風呂で木村重成をボカリと殴りつけたつもりの良寛。しかし殴ったのは木村重成ではなく、薄田という名代の短気者であった……。という面白い物語です。

さて、その若くして頭角を現した木村重成ですが、今回の新調だんじりの彫刻では重要なところで存在感をだしております。その1つの場面は次のとおりです。

慶長19年12月26日、大坂冬の陣のおり、木村隊は今福堤で佐竹隊と激突しました。大井何右衛門もこの戦が初陣だった主君を支え奮闘し、木村隊は佐竹家重臣渋江内膳政光を討ち取り、佐竹先鋒隊を潰走させる戦果をあげましたが、この

戦いの途中、大井何右衛門は行方不明になってしまいます。木村重成は戦場に引き返し大井何右衛門を探します。やがて大井何右衛門は見つかりましたが彼は致命傷を負い、歩行も不可能になってしまいました。さらにタイミングの悪いことに、堀尾忠晴が木村重成を討つため攻撃を仕掛けてきました。大井何右衛門は自分を見捨てて早く逃げるよう伝えますが、木村重成は「ここにきて見捨てるくらいなら、最初から助けになど来ない！」と答え、自ら陣頭に立って堀尾隊に切り込みます。

これを見た木村隊三十余名は奮起し、数で勝る堀尾勢に対し奮戦。最後は木村重成自身が殿（しんがり）となって退却します。退却の際に大井何右衛門を馬上で抱え込み、敵を振り払って大坂城をめざしたのでした。その勇姿には敵味方とも感嘆したといえます。

大井何右衛門は無事帰陣したのですが、その後主君等に見守られつつ、間もなく息を引き取

りました。

部下を助ける木村重成とそれを追いかける堀尾隊。この緊迫感のある場面を、彫刻では丁寧に表現しております。彫刻の緊迫感と躍動感、実際の戦いを思い浮かべるものとなっています。武将は次にどんな動きをするのだろうか、指や手綱を引く腕の動作に、想像をかきたてる作品となっております。ご期待ください。

内覧会開催決定

5月1日新調だんじりの彫刻の内覧会が決定しました。会場は西之内町会館です。時間は午後1時から3時30分となっております。会場は西之内町会館1階会議室です。換気と入口での検温、アルコール消毒、マスクの着用を徹底して新型コロナウイルス感染拡大対策を施していきます。なお、会場の混雑具合により入場をお待ちいただく時間もあり

ありますので、場合によっては閉会時間を変更して皆様にゆつくりご覧いただけるようにいたします。

今回展示する彫刻は、一昨年の秋ごろから山本師が手がけてきた主要な部分の一部をご覧いただく予定です。完成した部分は前板から奥板、カスミまでを重ねて展示します。完成部分は彩色も施しておりますので、工務店で組み立てられる前の珍しい状態でご覧いただけます。その他、荒彫りまで完了している部分、素削りまで完了している部分、仕上げまで完了している部分も展示しておりますので、だんじり彫刻の完成までの各工程段階もご覧いただけます。

尚、会場内での写真、動画の撮影は禁止です。皆様のお越しをお待ちいたします。



新調地車の彫り物

進捗報告

〓 枅合い荒彫り完了〓

4月に入り大屋根、小屋根の枅

合いが荒彫りの形で姿を現しました。西之内町に昔から伝わる物語が、ようやく形として後世に伝えられる第一歩を踏み出したと感じる作品です。地名になる名前には深い歴史と意味があり、それを守り伝えることも祭りの役割の一つであります。地域の伝統を感じる作品の完成をお待ちください。

その他、小屋根隅出すの下絵にも着手しております。この部分にはもともと兵主神社の主神であったと考えられている神様の物語を取り入れております。ある動物を助ける有名な物語です。また、摺り出しにも着手しています。この部分に関しては、脇障子物見から一連の物語で展開しております。どのようなものであるか、今後

も少しずつご紹介しますのでご期待ください。

現在山本師は、松良の素削りから仕上げの段階を施しております。松良は左右で「難波戦記」の

主人公の最後の場面を取り入れております。松良には今までは取り入れない場面ですが、そこに挑戦することも山本師の技術と経験があつてのことではないかと感じる作品になっております。

新調委員の独り言

「ネタバレ」・・・物語の展開や結末といった重要な部分を暴露すること、ネタをばらしてしまうこと、などを意味する表現。この言葉を聞いてあまり良いイメージはない方が多いと思います。しかし、この微妙な感覚を上手く利用して映画の興行収入などを伸ばした実例もあります。『鬼滅の刃』。この物語自体は週刊ジャンプですでに完結までしているのですが、アニメ化した場合の視聴率、映画の観客動員数はすごい結果を出しております。

今、コロナ禍で様々なイベントや行事が中止、縮小となっている中、祭礼行事を維持し後世に渡すためにも、今回のだんじり新調について、彫り物の「ネタバレ」で少しでも気運を高めることができればと考えています。決して大きな貢献にならないかもしれませんが、文化の継承、地域の活性化、人の繋がりになればと思います。完成まで全力疾走で頑張ります。ご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。